

平成28年度 研究計画について

山口県小体連 研究部

1 今年度の研究計画について

中・四国大会が終わり二年が経過した。中・四国大会での成果を深化、発展してきているところである。

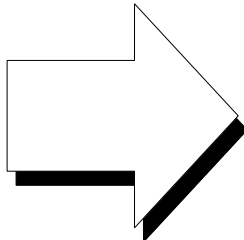
平成30年度内には、大会主題を設定し、研究を進めていきたい。

そこまでは各支部で、

山口から体育維新の風を・・・ 「楽しい体育」から『もっと楽しい体育』へ

～動きと学びを確かに高める体育学習～ にもとづき、動きと学びが確かに高まる『もっと楽しい体育』を目指し、研究を進めていくとともに、新たな課題について情報交換や意見交換を図っていききたい。

＜これまでの研究＞

| | 平成23年度(1年次) | 平成24年度(2年次) | 平成25年度(3年次) | 平成26年度 平成27年度 |
|--------|--|---|--|--|
| 研究のねらい | <p>○楽しさを膨らませるために、どんな学習内容（「動き」と「学び」）を、どこでどう学ばせ、どのように教師が指導・支援、評価を行っていけばよいのかについて、しっかりと単元構想を練り授業に臨むことができるようにする。</p> <p>○実際の授業の中で、身につけ高めたい「動き」と「学び」が、どのような教師による直接的、間接的な働きかけ（指導・支援、評価）や子ども同士による関わり合い（学習形態や相互評価等）の中で習得されていくのかを探る。</p> | | | |
| 研究の視点 | <p>○楽しさが膨らむ確かな単元構想 ※単元構想図づくり</p> <p>・ふれさせたい運動の機能的特性の明確化</p> <p>・楽しさの膨らみと学習内容（「動き」と「学び」）の想定</p> <p>・「動き」と「学び」の獲得に必要な指導・支援、評価内容の具体化</p> | <p>○学びのエネルギーを湧き起こす運動との出会わせ方や教材化の工夫</p> <p>○個人差を吸収し、どの子も楽しめるマナーやルールの工夫</p> <p>○個人差を吸収し、どの子も楽しめる場や用具の工夫</p> <p>○友との関わりを深めていく工夫</p> <p>○課題把握、課題追求の仕方の工夫</p> <p>○効率的に技能を高める工夫</p> <p>○個をとらえ、支援に生かす評価の工夫</p> |  | <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;"> 深化・発展・課題 </div> |

これまで「楽しさが膨らむ確かな単元構想」を視点に、単元構想図を作成して授業を行い、「動き」と「学び」を確かに高めていく実際の支援のあり方、評価を視点にさらに研究を深めてきた。

今年度研究主題

「楽しい体育」から『もっと楽しい体育』へ
～「動き」と「学び」を確かに高める体育学習～

(1) 研究の進め方

・授業実践

各支部で県の主題を受けて授業実践を行う。

副読本を使った授業実践も進めてほしい

・実技と講習会

県小学校体育実技研修会

女性教員のための体育研修会

・中・四国島根大会での提案発表

研修会予定（7月4日）

(2) 今年度の研究のまとめ

授業実践記録（別紙参照）を各支部提出していただき、研究集録を作成する。

3 平成28年度の各支部の取組と予定について

| 月 | 主要行事 | 活動内容 |
|-----|--|------------------------|
| 4月 | | |
| 5月 | 県小体連・小教研体育部合同総会並びに合同理事会 | |
| 6月 | | |
| 7月 | | 提案発表についての協議（プレゼン） |
| 8月 | 女性教員のための体育研修会（10日） 県小学校体育実技研修会（17日） | |
| 9月 | | |
| 10月 | 中・四国小学校体育研究大会島根大会 | 提案発表 |
| 11月 | | |
| 12月 | | |
| 1月 | | |
| 2月 | 県小体連・小教研体育部合同総会並びに合同理事会 | 研究集録送付 来年度からの研究にむけて |
| 3月 | | |